

⑮ 明るい未来への一歩

報告 次世代育成のための文化施策に！

市公明党 横浜市会議員 市来えみこ

子どもたちへの文化芸術とともに、経済環境や家庭環境による子どもたちの体験格差の問題が指摘力といった「生きる力」されています。

そこで、令和5年9月の山中市長へ第一回目の

ス・フォー・チルドレン 一般質問で「子どもの文

の調査によると、世帯年 化体験の大切さ」を訴え

収が低いほど学校外での たことが契機となり、令

スポーツや文化芸術活 和6年度から新たに「子

動、自然体験などの体験 どもの文化体験推進事

活動が少なくなっていま 業」が開始されました。

す。更に、コロナ禍で 本市の子どもたちに

アルな体験の機会が減る は、家庭や社会の状況に



いちき 市来えみこ

横浜市泉区生まれ(56歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国バリーガル
家族:娘、両親、愛犬

☎045-482-9201

【メール】ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402

プロフィール
事務所

関わらず、文化体験に参 会の創出を、本市の施策
加できる機会の創出を進 として進めていくべき」
めることが、行政の役割 と市長へ訴えました。

だと思っています。その意味 市長からは「文化体験
からも、都筑区民が完成 は平等に保障されなくて
を心待ちにしていたボッ はならないとのこと、
シュホールでは、子ども おっしゃる通りと思いま
たちが思いきり文化芸術 す。子どもたち誰もが、
体験できる素晴らしい施 身近な場所で文化に触れ
設にしていたきたいと られる機会を作る、これ
感じています。 は行政としても責務であ

とりわけ本市には、長 ると思います。今後も引
年の鍛錬と深い洞察を持 き続き子どもたちが、多
つプロのアーティストが 様な文化に触れられる、
住んでいますので、その そういう体験の創出に取
ような方々からの指導 り組んで参ります」との
は、子どもたちに大きな 答弁をいただきました。

インパクトを与え、技術 今後も、より多くの子
の習得だけではなく、広 どもたちが、身近な場所
い世界を感じ取るために で文化体験ができる環境
も効果的と考えます。 づくりに取り組みます。

令和6年12月の二回目

の一般質問で、再度、

「子どもたちが、家庭や 資源の新たな魅力を引き
社会の状況に関わらず、 出し、多彩な文化体験が
文化体験に参加できる機 できるまちづくりに取り

組んで参ります。